

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 288

所管部局	福祉部	所管課	子育て支援課	担当者名	高橋 伸夫
事業名	保育所管理運営費			事業分類	ソフト事業
細事業名	広域入所委託事業			政策体系	113
会計	一般会計	科目	3. 民生 - 2. 児童 - 2. 児童		

1. 事業の概要

保護者の就労や里帰り出産等により、他の市町村の保育所への入社委託や南丹市立保育所への入所を受託している事業。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

親の就労や里帰り出産等により、他市町村の保育所へ入所のニーズがあり、その要望に応える保育サービスである。

② 事業を実施する必要性

親の就労や里帰り出産等における保育のニーズに応えるため、他の市町村と契約により広域保育の受入れ及び委託をし実施する本事業は、親の就労や子育てを支援することに不可欠である。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円		0	2,225	3,186	1,815	2,959	2,959
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円		0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	855	1,707	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	1,370	1,479	1,815	2,959	2,959
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.30	0.15			
人件費	千円	—	—	1,855	761			
事業費総額	千円	—	—	4,080	3,947			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

広域入所委託料 3,185,630円

5. 事業結果の概要

平成21年度中保育所入所受託児童数（京丹波町、横浜市、川崎市）7人
 入所委託児童数（綾部市、能勢町、福知山市、五島市）6人

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 委託		
保護者の就労や里帰り出産により相談を受けて、相手先の市町村に広域保育の受入れを依頼する。受入れが決まれば市町村間で委託契約を行い、入所を決定する。入所委託料を相手市町村の請求により支払をする。入所保育所が民間の場合は、国庫補助金の対象となる。	年間	委託入所者数 6人相手先 4市町(綾部市、能勢町、福知山市、長崎県五島市)
(2) 受託		
保護者の就労や里帰り出産により相談を受けて、相手先の市町村から広域保育の受入れの依頼がある。保育所に連絡をし、受入れが決まれば、市町村間で委託契約を行い、受入れを決定する。入所委託料を相手市町村に請求し、支払を受ける。	年間	受託入所者数 7人受託先 3市町(京丹波町、横浜市、川崎市)

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

制度の周知等について協議を進めた。
 保護者の就労や出産等を支援を進める。
 事業をしていない市町村があるので、京都府が21年度より新規事業として市町村間の広域入所について調整を進めることとしているので、連携をして進める。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
 制度の周知等について協議を進めた。
- ②当該事業のアピール事項
 保護者の就労や出産等を支援を進める。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
 事業をしていない市町村があるので、京都府が21年度より新規事業として市町村間の広域入所について調整を進めることとしているので、連携をして進める。